

ひこね 市議会だより



平成27年9月定例会 (9月7日~10月15日)

- 議会で決まったこと…………… 2~7
- 代表質問…………… 8~9
- 個人質問…………… 10~18
- お知らせ…………… 19~20

ご当地キャラ博in彦根2015
(平成27年10月17,18日開催)

10月15日に閉会した9月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係は3件、「彦根市個人情報保護条例の一部を改正する条例案」など条例関係3件の他、決算3件、その他議案4件、会議案1件を審査し、予算1件は修正可決、その他は原案のとおり、可決、認定および同意しました。

また、請願は2件、意見書1件を不採択としました。



彦根市教育委員会教育長の任命に同意

前教育長の任期満了に伴い、新たに任命されました。

任 期：平成27年10月2日～平成30年10月1日



ぜんじゅう きたろう 善住 喜太郎 教育長

通知カード・個人番号カードの再交付手数料を定める



【おもて面】 個人番号カード 【うら面】

住民票を有するすべての住民に対して、平成27年10月に簡易書留での郵送が行われた「通知カード」、および平成28年1月から本人の申請により交付が開始される「個人番号カード」について、再発行を必要とされる場合は下記のとおり手数料が徴収されます。 ※いずれも初回の交付は無料です。

再発行手数料	通知カード	500円
	個人番号カード	800円

市の施設の指定管理者が決定

下記施設の指定管理者が決まりました。

いずれも、指定期間は平成28年4月1日から平成32年3月31日までです。

施設名	指定管理者
彦根市中地区公民館	中地区交流の館運営協議会
彦根市稲枝地区公民館	稲枝地区公民館運営委員会
彦根市子どもセンター 彦根市立ふれあいの館	新・彦根子育てネットワーク



▲彦根市稲枝地区公民館

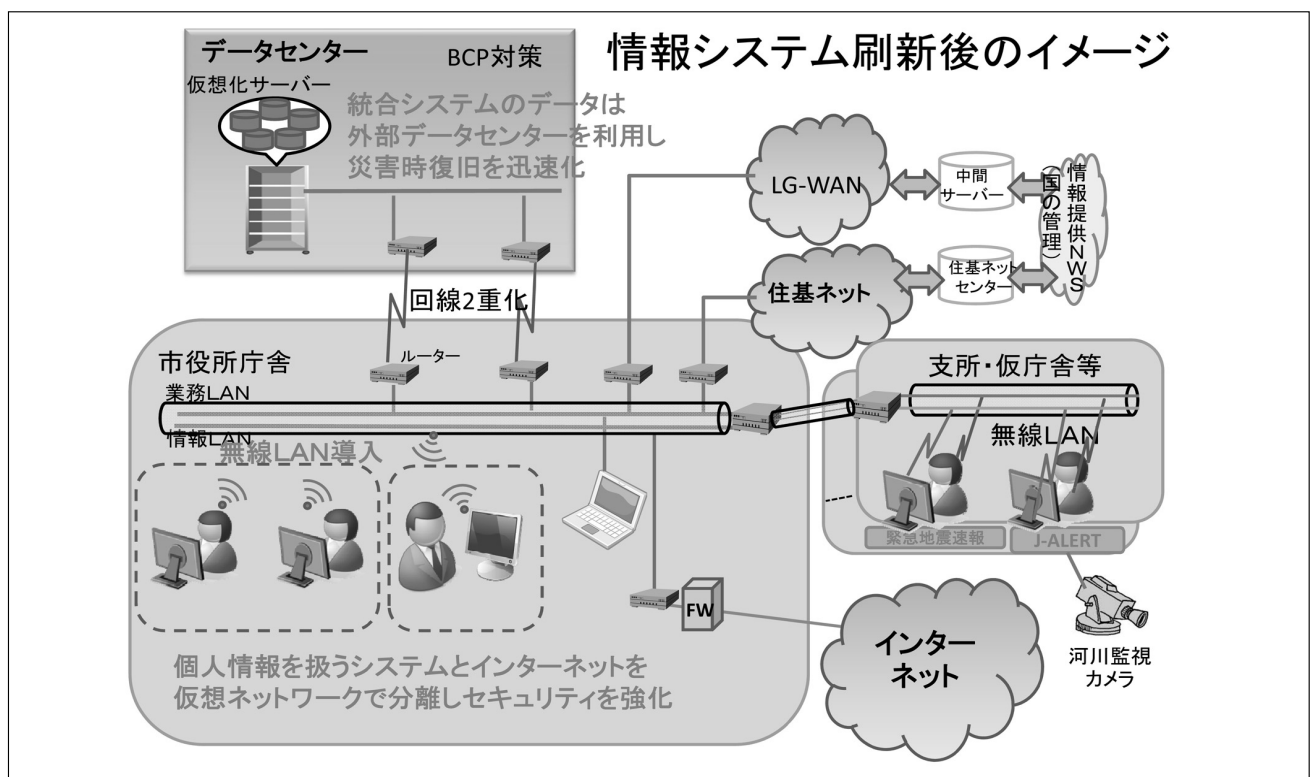
統合業務システム導入事業および情報基盤整備事業

債務負担行為額 21億5,784万円

市民課、税務課、保険年金課などで行う業務で、約40の別々のシステムを使用していますが、作業効率の改善と経費削減のため、一括して管理できる統合業務システムを導入し、併せて本市の情報基盤について、情報セキュリティ対策の強化、ネットワーク安定性の強化および甚大災害時の事業継続の実現等の機能強化を図るための経費です。

これは、平成27年度から平成33年度の期間における事業経費の限度額となりますが、経費の支出は平成28年度以降です。

※債務負担行為とは、複数年度にわたる契約を結ぶ場合など、あらかじめ後年度の支出について限度額と期限を定めるもの（地方自治法第214条）



JR稲枝駅改築整備事業

3億5,629万9千円

国の「社会資本整備総合交付金」について、JR稲枝駅改築整備事業に係る国からの内示額が当初歳入予算額に対し増額となったことから、事業費等を増額補正しました。



▲稲枝駅の仮駅舎

決算特別委員会を設置しました

9月定例会において上程された

- ・議案第90号 平成26年度（2014年度）彦根市立病院事業会計の決算につき認定を求めるとについて
- ・議案第91号 平成26年度（2014年度）彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めるとについて
- ・議案第93号 平成26年度（2014年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めるとについて

を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

委員

- ◎安澤 勝 ○安藤 博
- 上杉 正敏 和田 一繁
- 奥野 嘉巳 八木 嘉之
- 谷口 典隆 赤井 康彦
- 山内 善男 安居 正倫
- ※ ◎Ⅱ委員長 ○Ⅱ副委員長

【審査】

・議案第90号、議案第91号、議案第93号

【主な質疑の内容】

○企画総務消防常任委員会の所管に係る審査

歳入
・たばこ消費税の状況、自動販売機用地等貸付収入と自動販売機関連経費戻入の関係、広告料収入の内訳、手数料収入についてなど

歳出

・市民活動助成金、まちづくり推進事業総合補助金のあり方、荒神山自然の家使用料の詳細、消防団員と消防職員の充足、ホームページ作成委託料の不用額の要因、ひこにゃん商標管理に係る委託の内訳についてなど

○市民産業建設常任委員会の所管に係る審査

歳入

・住宅使用料、改良住宅使用料について

歳出

・リサイクル活動推進事業奨励金、彦根総合地方卸売市場への補助金、キッズISO事業、河川維持事業、通学路の安全対策事業、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業、戸籍一般経費のコンビニ交付の状況、国際観光振興事業の効果、観光センターの改修等

国民健康保険事業特別会計では、国民健康保険加入状況についてなど

下水道事業特別会計では、放射性物質検査についてなど

○福祉病院教育常任委員会の所管に係る審査

歳入

・新修彦根市史の売上金について

歳出

・福祉バスの運行状況、災害時要援護者の支援のしくみづくり、重症心身障害者通園施設運営費補助に係る現状と問題点、ひこね市文化プラザの指定管理者による雇用の状況、青少年の育成のための補助金、学力向上支援事業の効果、彦根城世界遺産登録の彦根ユネスコ協会との連携についてなど

休日急病診療所事業特別会計では、需用費の内容についてなど

彦根市立病院事業会計では、薬品費のうちジェネリックの比率についてなど

【討論】

それぞれの立場から討論があった。

・議案第93号に対して、議会のインターネット中継導入やがん検診、住宅改修促進、中学校のエアコン設置等の実施に敬意を表するが、人権や同和の施策の経費が使われていること、工場等設置奨励条例で大

手企業を応援すること、社会保障番号制度への投資、全国学力テストや市独自の学力テストの実施、国民健康保険事業特別会計の差し押さえの状況に同意できないことから反対する。

・議案第93号に対して、全ての会計において黒字となっており、基金の増加や実質公債費比率の改善と、努力が見え評価できる。今後、庁舎の耐震化や国体に係る事業予算の拡大等、厳しい状況は変わりないが選択と集中の精度を高め、健全な財政運営をお願いして賛成する。

【結果】

・いずれも原案のとおり認定。

議案等の審査結果

9月定例会の議決結果【全会一致で可決・認定した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第82号	平成27年度(2015年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第83号	平成27年度(2015年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第86号	彦根市職員の退職手当に関する条例および彦根市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第87号	彦根市中地区公民館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決
議案第88号	彦根市稲枝地区公民館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決
議案第90号	平成26年度(2014年度)彦根市立病院事業会計の決算につき認定を求めることについて	認定
議案第91号	平成26年度(2014年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて	認定
報告第16号	損害賠償の額の決定について	—
報告第17号	和解および損害賠償の額の決定について	—
報告第18号	損害賠償の額の決定について	—
報告第19号	平成26年度(2014年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について	—
報告第20号	第27期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について	—
報告第21号	第18期株式会社夢京橋の決算状況について	—
報告第22号	第12期株式会社四番町スクエアの決算状況について	—
報告第23号	市の債権の放棄について	—
報告第24号	市の債権の放棄について	—
報告第25号	市の債権の放棄について	—
報告第26号	市の債権の放棄について	—
報告第27号	平成26年度(2014年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について	—
報告第28号	平成26年度(2014年度)彦根市の健全化判断比率等について	—
会議案第4号	彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案	可決

【賛否が分かれた議案・審議結果】(○：賛成 ●：反対 退：退席 —：議長)

議案番号	件名	結果	谷	獅	北	辻	夏	小	赤	安	八	矢	和	野	杉	小	上	中	山	山	奥	長	安	西	馬
			口	山	川	真	川	川	藤	木	辰	田	村	原	菅	杉	野	内	田	野	崎	澤	川	川	和
修正案	議案第81号 平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	彦根市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	彦根市子どもセンターおよび彦根市立ふれあいの館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	○	●	●	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	平成26年度(2014年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	高浜原発の再稼働に関する請願	不採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第3号	「安全保障法」廃止に関わる意見書案	不採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議案第81号は、修正案が可決したことから、修正部分を除く原案が可決されました

平成27年度彦根市一般会計補正予算（第4号）

市役所本庁舎耐震化 整備事業に係る予算を 減額する修正案を再び可決

▲市役所本庁舎

約2億4,500万円減額・その他の補正予算は可決

6月議会で関連予算が減額修正された「市役所本庁舎耐震化整備事業」について、市は9月議会に、庁舎北側に5階建ての建物を増築する案を含む補正予算を提案しました。

しかし、「同案は職員を対象に行われたヒアリングの結果が反映されておらず、職員1人当たりの面積は現状よりも少なく、市民サービスの向上につながらない」として、議案第81号平成27年度彦根市一般会計補正予算（第4号）のうち、市役所本庁舎耐震化整備事業に係る関連予算約2億4500万円を減額する修正案が4名の議員から提出されました。また提案説明の中では、「同修正案が可決されれば同事業を審議する特別委員会を設置して議会として市民への説明責任を果たしたい」との発言もあり、採決の結果、議長を除く議員23人中15人の賛成により同修正案を可決しました。同事業に係る予算を減額する修正案は、本年6月議会に続き2度目の可決となります。

なお、可決した修正案部分を除くその他の一般会計補正予算は賛成多数で可決しました。

本庁舎耐震化整備検討特別委員会を設置

平成27年度彦根市一般会計補正予算（第4号）の修正予算を可決したことを受け、仮設庁舎設置ならびに庁舎増築も含めた市役所本庁舎耐震化整備事業について審議するため、全議員24名で構成する特別委員会を設置しました。

本委員会では、本庁舎の耐震化整備は喫緊の課題であることから、できる限り早急に、執行部が一定の結論を導き出せるよう、市民に開かれた形で委員会を開催し、議員間の議論を深めてまいります。

◎委員長 谷口 典隆

○副委員長 八木 嘉之



第1回は、10月14日に開催し、課題の整理を行うとともに、執行部から耐震化整備の4つの案が提案されました。

第2回は、10月22日に開催し、専門家による安全性の検証のために、参考人として(株)水原建築設計事務所から建築士を招致しました。

企画総務消防常任委員会

9月24日に委員会を開催し2件の議案、2件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第84号、議案第86号
- ・請願第5号、請願第6号

【主な内容】

- 議案第84号は、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、彦根市個人情報保護条例の一部を改正するもの。
- 請願第5号は、高浜原発の再稼働に向けた作業を止めるよう、意見書の提出を求めるもの。
- 請願第6号は、所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求めるもの。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。
- ・請願はいずれも不採択。

市民産業建設常任委員会

9月18日に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第85号

【主な内容】

- 議案第85号は、彦根市手数料条例の一部を改正する条例案で、来年1月1日から施行する個人番号カード交付に関するもの。
- 個人番号カード交付にあたって、通知のあり方等の質問や交付に対しての反対もあった。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決。

福祉病院教育常任委員会

9月25日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第87号 議案第88号 議案第89号

【主な内容】

- 議案第89号の「彦根市子どもセンターおよび彦根市立ふれあいの館の指定管理者の指定について」、2つの事業の管理を同一団体に任せることのスケールメリットや、管理料の積算内容と現在の職員の動向について質疑があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。

議会改革特別委員会中間報告

議会改革特別委員会は8月7日、8月26日に委員会を開催し、改選前から引き継いだ「予算特別委員会の常任委員会化」や「正副議長選挙における立候補制の導入」など、今後の検討事項について確認した。

また、全国市議会議長会の要請を受け、彦根市議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、出産に伴う議会の欠席に関する規定を設けることとし、会議案第4号として9月定例会に上程することとした。

公政会



質問者 安居 正倫議員

Q 世界遺産登録の見通しと経費は

Q 本市における世界遺産登録に要した予算は平成20年以降約3千万円であるが、経費がかかったわりに、作業はあまり進展しているとは思えない。一方、姫路城が世界遺産登録されている中で、彦根城が本当に世界遺産に登録されるのか疑問に感じる市民も多い。本当に登録が可能なのかも含め今後の見通しと登録までに必要な経費について明らかにされたい。

A 彦根市では昨年度から作業グループを設立し、すでに登録された世界遺産とは異なるコンセプトを確立させ、彦根にしかない普遍的価値を証明することに努めている。このことは文化庁からも高く評価いただいている。また、今後作業を進めるにあたり経費は必要となるが、極力経費の節減に努める。

進めるにあたり経費は必要となるが、極力経費の節減に努める。



▲彦根城

A 現在の取組を一層推進する

Q 主要イベントPRへの早期取組を

Q 今年度のイベントや観光PRをみてみると対応が極めて遅い。彦根城築城400年祭の時のように、相当早くからイベントや観光をPRしなければエージェンツ等に情報を早く発信できず、全国の観光客の誘客には繋がらない。今後本市に関連する大河ドラマや観光誘客にどのように対応するのか。また、こうした取組はいつの時点から対応しようとするのか。

A 彦根市では、これまでも区切りの良い年に記念事業を開催し、本市の魅力を外部に発信し、観光誘客増に努めてきた。また、市民の皆さまには歴史や文化を改めて認識していただくきっかけとすることで、愛着や誇りを高めていただくよう努めてきたところであり、こうした機会を捉えていきたいと考えている。記念事業の実施に向けてできる限り早い段階から取り組んでいきたい。



▶井伊直弼公生誕200年祭ポスター

A 記念事業のPRは早い時期から行う



質問者 赤井 康彦議員

夢みらい

住宅リフォーム制度等の予算化を

Q 次年度の予算編成は、大久保市長にとって3回目の予算編成であるが重点施策と考える事業の柱は何か。また、今年度からお礼として特産品を選んでいただくことになったたふるさと納税の現在の状況は。さらに昨年度も要望していたプレミアム商品券は次年度発行されるのか。加えて次年度も住宅リフォーム制度の予算化を望むがいかがか。

A 「福祉分野」、「教育分野」、「産業・経済分野」の3項目を重点項目とする他に人口減少問題対策にも取り組んでいく。ふるさと納税のお礼の品は、牛肉、米、湖魚、菓子、茶、近江麻布、仏壇製作技術を活かした雑貨等を予定。プレミアム商品券については、国の経済対策を注視し判断していく。住宅リフォーム制度は、大きな経済循環を生んでいることから制度に工夫を凝らし予算化を検討していく。

平成27年度
彦根市経済活性化対策住宅改修等促進事業

市内産業および雇用の活性化ならびに居住環境の向上を図り、地域経済の活性化を促進するとともに、消費財の取引に伴う消費の冷え込み等を防ぐため、市内業者（市内に本社がある法人または市内に住所がある個人の施工業者）を利用し、市内で住宅の改修等をした場合に助成金を交付します。

●「事前申込み」の受付期間 ※土・日・祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで
 ①第1回（30件程度を限度）平成27年4月1日（水）から平成27年5月15日（金）まで
 ②第2回（30件程度を限度）平成27年9月1日（水）から平成27年10月30日（金）まで

① 助成金を受けるまでの申請方法および必要書類については、2ページをご覧ください。
 ② 「事前申込み」で、助成金申請書（※様式）と「事前申込み」の申請書（※様式）を、第2回の助成金申請書は11月中旬に、それぞれ、助成金交付申請書の欄内に郵送します。
 ③ 「交付申請」を受理される方は、工事完了前に、必ず引当金（助成金の2倍）を記載した【必要書類】を提出してください。【必要書類】が不足する場合は、申請の受付ができません。
 ④ 事前申込みの状況次第で、追加募集（第3回事前申込み）を行う可能性があります。

●申請要件
 ① 申請者は、市内に住民登録を有する者であること。
 ② 申請者は、市内に住宅を自ら所有し、2親等以内の親族が所有する場合は含む。し、そこに自ら居住して生活して要する者。
 ③ 申請者は、申請時において市に滞納がなく、本市の各種融資の償還が滞っていないこと。
 ④ 工事期間は、平成27年4月1日以降の竣工で、平成28年3月31日までに完了すること。
 ⑤ 工事費は、市内業者による前年度対象工事の総費が20万円以上（消費税を含む）であること。

●留意事項
 ① 今年度の工事に当たり、要請中や関係業者からの補助等を受ける場合は、原則として本事業の助成対象外とし

▲平成27年度彦根市経済活性化対策住宅改修等促進事業

全国学力テストの結果は

Q 全国学力学習状況調査いわゆる全国学力テストの結果における滋賀県のコメントに対して彦根市教育委員会教育長の見解はいかがか。また毎年、全国学力テスト結果や考察をHPに掲載されているが、今回の結果はいかがか。また、彦根市独自の学力テストを導入しているが成果はどのようなものか。

A 県は、「取組や改善の兆しが見えている」とのコメントを出しているが成果が出ているとは考えていない。今回の全国学力テストの結果は全て全国平均を下回る厳しい結果であった。彦根市学力テストは、各校から高い評価を得ており、ほぼ全国レベルである。しかし、全国学力テストとのギャップを解消することが課題であり、国が求める「活用力」を定着させることを目指し取り組みんでいく。

彦根市の教科に関する調査結果

※調査の結果は、学力の特定の一部です。

○平均正答数(平均正答率)

教科等	国語		算数・数学		理科
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	
全国	9.8問/14問 (70.0%)	5.9問/9問 (65.4%)	12.0問/16問 (75.2%)	5.9問/13問 (45.0%)	14.6問/24問 (60.8%)
滋賀県	9.6問/14問 (68.6%)	5.7問/9問 (63.7%)	11.6問/16問 (72.7%)	5.6問/13問 (43.0%)	13.9問/24問 (58.0%)
彦根市	9.2問/14問 (66.0%)	5.6問/9問 (62.0%)	11.3問/16問 (70.8%)	5.4問/13問 (41.8%)	14.0問/24問 (58.2%)
全国	25.0問/33問 (75.8%)	5.9問/9問 (65.8%)	23.2問/36問 (64.4%)	6.2問/15問 (41.6%)	13.3問/25問 (53.0%)
滋賀県	24.4問/33問 (74.1%)	5.7問/9問 (63.3%)	23.0問/36問 (63.9%)	5.9問/15問 (39.2%)	12.6問/25問 (50.3%)
彦根市	24.1問/33問 (73.1%)	5.6問/9問 (62.5%)	22.9問/36問 (63.7%)	5.9問/15問 (39.3%)	12.7問/25問 (51.0%)

▲平成27年度全国学力学習状況調査の結果

制度に工夫を凝らして検討する

全て全国平均を下回る厳しい結果



金亀公園内多目的広場の
新設整備について



杉原 祥浩議員

一の機能として検討を進めている。また、ホッケー場においては、実現可能性のある条件の中で練習場の確保に努めているところである。

Q 市民体育センターの利用者と年間調整会議の参加団体数は。

A 利用者は概ね年間8万人前後である。会議の参加団体数は、例年50団体程度である。

Q その他のスポーツ施設の充実は。

A 市民体育センターの移設を優先的に取り組む。

プールについては、県に再整備を要望したところである。多目的広場については、金亀公園再整備の中で市民のニーズを収集し整備する。

弓道場、ホッケー場については、現段階では検討していない。武道場は、体育センター



市民のニーズや思いを
収集しながら整備する



▲市民体育センターでの活動風景

その他の質問

- ・ 中山道高宮宿、鳥居本宿の観光整備、景観条例について
- ・ 中山道宿場町「伝統的建造物群保存地区」の指定について



南中学校ホッケー部の
練習場所の検討内容は



安藤 博議員

について、所有者にも面会し検討したが、多くの課題があり断念した。人工芝の練習場所については、市内の民間施設の借用も視野に入れ、今後引き続き検討していく。

Q 南中学校ホッケー部の練習環境改善について、6月定例会で求めていたが、その答弁では、近隣の民間所有地等も含めて人工芝の練習環境を検討することであった。

全国大会で優勝した男子ホッケー部は、大会HPで「市内で唯一活動場所がない部活動です。そのため近隣のグラウンドなどを借りて活動しています。でも、この逆境を跳ね返す、技術・体力・精神力と周囲の支援があります。」とコメントしている。この思いを受け、練習場所等の環境改善についての検討内容を問う。

A 近隣の民間所有地の借用



民間施設も含め人工芝の
練習環境を検討する



▲狭あいなホッケー練習場

その他の質問

- ・ (続) やさしい日本語案内を導入しては
- ・ データヘルス計画による健康な街づくりを

湖東定住自立圏・拠点図書館の建設について



夏川嘉一郎議員

Q 湖東定住自立圏拠点図書館の建設に関わる基本構想は。

A 湖東圏域の拠点となる図書館を本市において整備し、圏域内図書館相互の資料や情報人や組織のネットワーク、サービス網を構築することにより、圏域住民の読書機会の平等化、均質な図書館サービスの提供を図る。



▲現在の彦根市立図書館

を交えた整備を検討する委員会的なものを考えており、場所選定等もその中で考える。
Q 図書館の完成リミットは。
A 市長の任期中に基本計画策定と考えているが、現時点での明言は困難である。

A 有識者を含む整備検討委員会的なものでの対処

Q 場所選定等、基本設計に関わる組織とは。また、場所選定に関しては、先にクリアすべき条件（例えば、圏域内各重心地、交通、環境等）を提示しておくのも一法と考えるが見解は。
A 組織としては、有識者等

その他の質問

・今や総合計画は強い個性化の時代。幸福度、持続可能性など新たな志向が台頭。
 本市総合計画の大幅な改革を求めたい

市役所耐震化における職員の声の反映は



北川 元気議員

Q 市役所本庁舎耐震化整備事業において、多くの部局から支持されている「前面5階案」が採用されていない理由は。

A 1点目は、事業費の抑制。2点目は、将来の建て替え等を考慮。

Q 今回の集約案では、ヒアリング結果（職員の声）が反映されているか。

A 集約案では、後面の増築棟を既存庁舎と各階で繋ぐ意見、前面ブレースを着色ガラスで覆い景観に配慮する意見等を反映した。執務スペース確保は、今後実施設計を進める中で考える。

Q ヒアリング結果を客観的に

A すべての意見を反映させることは困難である



▲市役所本庁舎

に見れば、職員の声を聞いていないのではないかと。
A すべての意見を反映させるのは困難である。

その他の質問

・新教育長の人事案に対する市長の見解は
 ・教科書採択の情報公開について

大河ドラマ直虎と
築城410年祭の戦略は



和田 一繁議員

Q 平成29年放送の大河ドラマ「おんな城主直虎」と彦根築城410年祭についての戦略は。

A 機を逸しないように組織体制を順次整え、平成28年度当初予算において、少なくとも事前PR等の一定の準備経費の計上をめざしてまいりたいと考えている。

Q 「ひこねちゃん」10周年の開催予定時期と規模は。

A 当然ながら「ひこねちゃん」の誕生日である平成28年4月13日が最もふさわしいと考えている。また、内容は例年実施しているお誕生日会、ファンクラブの集いをベースに10

年目の節目にふさわしいものとなるよう検討を行い、誘客につなげていきたいと考える。



▶ 来年ひこねちゃん誕生10周年

平成28年度当初予算の
計上をめざしている

その他の質問

- ・重要文化財での特別展示内容の評価は
- ・大河ドラマ「真田丸」の観光戦略の考えは

臨時・非常勤など
非正規労働者の権利を守れ



山内 善男議員

Q 全国で非正規が4割。さらに改悪派遣法が強行され不安定雇用が増大する。市は市民憲章や人権条例で市民に人権をいうが役所内の雇用は。

A 職員は正規1,503人、臨時1,031人。雇用は法を遵守し人権を尊重している。

Q 市民には人権をいい、4割にもおよび非正規雇用では市の人権感覚が問われる。

通勤費支給、忌引き、特別休暇など臨時職員の待遇について改善の考えは。

A 国家公務員準拠で、忌引きの有給化、介護休暇は制度化を検討する。通勤費支給改善は他市を研究し検討する。

Q 正規が有給、非正規が無給の規定はあるか。
A 産前産後休暇・生理休暇・病休などがある。
Q 均等待遇から問題だ。法律の範囲内である。

憲法第14条
「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」

地方公務員法第13条
「すべて国民は、平等に取り扱われなければならない。若しくは門地によって差別されてはならない。」

忌引・介護休暇・
通勤費の見直しを検討する

その他の質問

- ・市はこだわり米支援、土地改良区への技術者派遣、ポンプの電気料援助など農業支援に力をつくし消費者に安全な食料を



新市民体育センター
建設条件と候補地



奥野 嘉己議員

Q 次期国体会場整備のために廃止される市民体育センターの移転建設のための4条件①国体屋内競技が開催可能な広さ②大規模大会を招致できる十分な駐車場スペースの確保③JR駅から小中学生が容易に歩ける距離への設置④現センター廃止から新センター開設までの空白期間の短縮。と、候補地として稻枝駅西口地区の提案を行い、市長の考えを問う。

A 県から移設要請があり、市民に愛される新体育センターにむけ検討をしていく。



▲現在の市民体育センター



愛される新体育センター
にむけ検討する

A 理由：昨年9月議会でJR稲枝駅西側地区の開発促進を求める請願書が採択され、引き続きスポーツ施設誘致の要望が2度に渡り出ていること、交

その他の質問

- ・現図書館の耐震補強と充実した1000周年事業を求める
- ・高齢化対策（交通、買物難民、通院難民対策）を求める



農業振興地域の人口問題について



長崎 任男議員

Q 彦根市の市街化調整区域、特に農業振興地域の人口減少について見解を求める。

A 農業振興地域の人口減少を重要な問題の一つと捉えており、彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略において農業振興についても検討している。

Q 農業振興地域における諸問題対策としての彦根市の見解は。

A 農村集落の定住人口を増やして行くためには、住民や新たな定住希望者に農業と農村に魅力を感じてもらうことが必要と考えており、農業の魅力を高めて新規就農者を確保し、農産物のブランド化や、農商工連携、6次産業化の取組を進展させる農業振興策を推進していきたい。



▶ 亀山地域の田園風景



高齢化や若年層の
流出が課題である

Q 農業振興地域の人口減少を重要な問題の一つと捉えており、彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略において農業振興についても検討している。

Q 農業振興地域における諸問題対策としての彦根市の見解は。

A 農村集落の定住人口を増やして行くためには、住民や新たな定住希望者に農業と農村に魅力を感じてもらうことが必要と考えており、農業の魅力を高めて新規就農者を確保し、農産物のブランド化や、

その他の質問

- ・現庁舎の耐用年数と修繕費用について
- ・時代に即した地方自治計画の策定について

市を代表し活躍する子ども達への支援強化を



八木 嘉之議員

Q 研究されるべきではないか。
A 今後、ジュニア期の競技力向上に関する取組を進めている彦根市体育協会とも連携をしながら、支援のあり方について研究していく。



▶ 市役所にかげられた懸垂幕

Q 市役所本庁舎などにおける懸垂幕は、公平かつ時期を逸しないことが必要である。懸垂幕を作成する基準を定めるべきではないか。
A 公共の福祉に資する要件を満たすことを基本に、今後、作成の基準を定めていく。
Q 競技スポーツで、近畿大会や全国大会出場者に支給される激励金制度の実情は。
A 近畿レベルの大会は、個人2千円、団体1万円。全国大会は、個人3千円、団体1万5千円となっている。
Q 世界の舞台で活躍が期待される子ども達への奨励金の支給のあり方等支援について

A 彦根市体育協会とも連携して研究をしていく

その他の質問

- ・シエイクアウト訓練の導入を
- ・市役所のバリアフリートイレの改修を
- ・ユニバーサルツーリズムの研究を

旭森学区の下水道整備の状況は



小菅 雅至議員

Q 旭森学区・野田山町の下水道の整備状況は。
A 平成14年度から着手しており、西沼波町、東沼波町、大堀町については概ね整備が完了している。現在下流域となる地蔵町の整備を進めている状況。今年度は正法寺町の調査設計を行い、その後財政状況を考慮しながら上流域の正法寺町、野田山町へと順次整備区域を拡大していく予定である。平成37年度をめどに本市下水道事業の一般的な整備を終える予定である。



▶ 汚水ます(彦根市の花「はなしょうぶ」と風景をデザイン)

Q 近年の下水道の単年度整備については。
A 下水道事業の財政状況については。

A 上流域より整備拡大する予定

その他の質問

- ・市内幹線道路の慢性的な交通渋滞の状況および対策整備事業の進捗は
- ・国道8号バイパス整備事業の進捗は



学校における業務改善
ガイドラインの対応は



小川喜三郎議員

援員を配置し教員の負担軽減に取り組んでいる。さらに、校務支援システムの導入を検討している。教員一人ひとりが持っている力を高め、発揮できる環境を整えていく。

Q 文科省の実態調査で教職員が負担と感じている業務は。

A 国や教育委員会からの調査やアンケートの対応が負担と感じている教員の率が高い。

Q 今後の学校への支援策は。

A ガイドラインでは5つの観点で示されているが、事務の共同実施による事務機能の強化や校務の効率化・情報化、学校地域支援本部事業の推進、学校サポート体制の構築等で業務を軽減し、児童生徒と向き合う時間の確保に繋がるよう改善を図っていく。



▲彦根市立東中学校



教職員の多忙化には
連携しながら対応する

A 負担となる業務の軽減は、本市では、学校支援室を設置しているほか、様々な支

その他の質問

- ・教職員の不祥事防止対策は。
- ・協働のまちづくりに補助制度の導入を
- ・琵琶湖保全再生法案に期待することは



地産地消が中心の給食提供の
取り組みは



山田多津子議員

A 同一業者からの調達により食材の品質が一定に保てると考え、給食センターから卸売市場内業者への一定の優先発注を行い、納入可能品目を調達したいと考えている。

Q 学校給食は、子どもたちが成長期を過ごす学校における大切な食教育である。安心・安全の観点から自校方式が一番の手法であり、よりこの方式に近い提供を進めるため、地産地消の推進が必要である。

A 関係部局と連携し制度設計をすることが必要ではないか。

Q 食材納入実績数値を踏まえ、産業界、教育委員会教育部、給食センターと卸売市場により、補助金等の支援策や卸売市場内の業者・市内中小零細業者が参入しやすい仕組みづくりなど制度面で採用可能な施策を検討している。



▲彦根市学校給食センターと給食一例



関係部局と連携し
制度設計を進めていく

Q 具体策の内容は。

その他の質問

- ・本庁舎耐震化整備事業について
- ・マイナンバー制度の危険性に対し、問われる自治体の対応策



現在のデータヘルス計画への取組は



中野 正剛議員

Q レセプト・健康情報を利用したデータヘルス計画の現在の進捗状況は。

A 平成27年度中の計画策定に取り組んでいる。専門業者に業務委託をし、過去3年間のレセプトや健診情報を基にデータ分析等の作業を進めている。

Q データヘルス計画に先行して実施しているジエネリック医薬品への切り替え効果は。

A 平成23年12月から「ジエネリック医薬品差額通知」を年2回送付しており、今までの削減効果額を推計すると累積で約3,000万円となる。

Q 今後のデータヘルス計画



健診情報等を分析し、健康課題を明らかに

の取組は。

A 今後の展開については疾病治療の状況を把握し、本市の健康課題を明らかにして、具体的な目標設定を行い計画に反映していく。



▶データヘルス概要

その他の質問

- ・彦根市に外国人観光客を誘致する環境整備を
- ・彦根市で「リソース」の活用を



災害発生時等に屋外放送設備の活用を



野村 博雄議員

Q 高齢者世帯や、女性の社会進出等により昼間は高齢者のみとなる世帯の増加に対し、「情報弱者」とも言われる高齢者に、災害発生時適切に情報を伝達する手段は。

A メール、市のホームページ、ラジオ、テレビ等に加え、緊急通報システムによる自治会の連絡網等での伝達、また地元消防団等の広報車による伝達や個別訪問等がある。

Q 地域の屋外放送設備を活用し、普段聞きなれた地域の人々の声で、切迫感を持ってどこへ避難するのかが具体的に伝達してもらう事も大変有効な手段だと考えるがどうか。

A 情報伝達を補完する手段の一つとして有効であると思われる、地域の特性や状況をふまえスピーカーの設置場所や数等十分検討しながら、補助金活用を周知していきたい。



▲地域の重要な情報伝達手段・屋外放送設備の一例

その他の質問

- ・心身の発達段階をふまえた、中学校の更衣室の整備について
- ・諸団体と連携し、収入の重要な柱・観光の一層の振興を



有効な情報伝達手段の一つとして周知する

彦根西高校統合後の
跡地利活用に地域の声を



谷口 典隆議員

Q 彦根西高校の跡地利活用に係る県との協議の経緯は。

A 現時点で具体的な協議は行っていないが、県としては利活用の予定がない県有地は売却する方針であることから、県教委に対して利活用の予定がないのであれば本市と具体的に協議することを要望し続けているところである。

Q 地元の城西学区連合自治会や池州町自治会等からも、地元意向を尊重した利活用を求める声があるが見解は。

A 県教委では統合移行期には新校の施設としての使用を表明されているが、平成30年度以降のことについては改めて判断されることになり、その後の跡地利活用のについては地元自治会等からご要望も複数お聞きしており、こうしたご意向も踏まえ、市としてしっかりと対応していきたい。

て判断されることになり、その後の跡地利活用のについては地元自治会等からご要望も複数お聞きしており、こうしたご意向も踏まえ、市としてしっかりと対応していきたい。



▲住宅街の中に建つ彦根西高校

A 地域の意向も踏まえしっかりと対応していく

その他の質問

- ・ 議場への無線LANの敷設とタブレット端末の導入について
- ・ 市役所本庁舎耐震化整備事業における集約案について

小中一貫教育の推奨される形態とは



安澤 勝議員

Q 昨年3月議会の答弁と現在も考えは変わらないか。

A 鳥居本小中一貫教育の形態は施設一体型が推奨されると答えた。教職員が日常的に話し合えることは理想の形であると考える。

鳥居本学園では、児童生徒が学校行事や授業を通して交流したり、教員が相互に乗り入れて授業を行ったり、授業研究会や職員研修会を合同で実施するなど、様々な取組を進め一定の成果をあげている。施設一体型に近い施設隣接型のモデルとして教育実践を積み重ねることにより、成果と課題を取りまとめ、小中一貫

教育をさらに充実させていきたいと考える。
その上で、施設一体型校舎の整備については、検討していく課題であると認識している。



▲4月から「鳥居本学園」が開校

A 施設一体型校舎の整備は検討課題である

その他の質問

- ・ 小中一貫教育で、児童生徒確保の方策は
- ・ 小学校にエアコン設置の見直しはいつ頃か

Q 若者有権者投票率向上に向けての取組を



上杉 正敏議員

しを行ったり職員のパ遣を実施した。若年層の投票率向上に向けての取組として、滋賀県立大学に期日前投票所を設置出来ないか、関係機関と協議している。

Q 投票率向上に向けての取組は。

A 平成25年7月の参議院議員通常選挙での投票率が、県下最下位の状況を受け、「明るい選挙推進協議会」や「若者選挙セミナー」を開催し、投票率向上に関する意見や選挙管理委員会での議論等を踏まえ取り組んできた。投票環境の整備として、県下で初めて大型商業施設ビバシティ彦根で期日前投票所を設置した。

Q 18歳選挙導入に向けての準備は。

A 若年層に対する早期啓発を目的として、小・中・高校への投票箱や記載台の貸し出し

A 18歳選挙導入に向けての準備を推進していく



▲開票所の様子

その他の質問

- ・道路交通法改正に伴う自転車等のマナーの向上について
- ・危機管理の取組について

Q 本庁舎耐震化整備事業の分筆登記について



辻 真理子議員

Q どちらも確認していないのはどういふことか。
A 耐震と関係なく境界を明確にするべきと判断し、県と相談して分筆登記を行った。

Q 市長は、市役所裏に計画されていた立体駐車場のための県有地取得の合意（基本方針確認書）を「見合わせる」前に、総務部長と協議したか。

A 協議していない。

Q 県に「見合わせる」ことを表明した後も、県有地の分筆登記が、肅々と進んでいたことを市長は知っていたか。

A 知らなかった。

Q 市長は、分筆登記を止めたいか。

A 知らなかった。

Q 職員は、分筆登記を止めるか、止めないかの指示を仰いだか。

A 指示を仰いでいない。

A 基本方針確認書履行を見合わせた後も進行



▲彦根市役所

第3回議会報告会を開催しました

市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、市内4会場で8月3日(月)、18日(火)、19日(水)に第3回議会報告会を開催しました。

今回は平成27年度当初予算の内容を中心に報告しました。また、第2部の意見交換会では、彦根市議会、市役所本庁舎の耐震化、市の災害対策、彦根市給食センター、観光に関することなどへの意見をいただき、広い分野にわたり議論を深めました。

当日ご参加いただいた93人のみなさんへのアンケートでは、「議会を身近に感じた」、「突っ込んだ質問にも緊張感のある回答があって有意義であった」など嬉しい感想もあれば、「参加者が少ない」という厳しい意見も頂戴しました。

さらに多くの方々にご参加いただけるよう、テーマの設定やプログラムについても検討を重ねてまいります。



▶ 本会議場



▶ 中地区公民館



▶ 河瀬地区公民館



▶ 市民会館

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。今年度の状況についてお知らせします。

日時	議会名	視察項目
7.10	静岡県三島市議会	地産地消について 議会改革・議会報告会の取組について
7.14	愛知県豊田市議会	空き家等の適正管理に関する条例について
7.17	群馬県高崎市議会	彦根市商業振興基本条例について
7.17	広島県福山市議会	新観光振興事業について
7.23	新潟県燕市議会	「美しいひこね創造活動」について
7.23	秋田県大館市議会	市街地再開発について
7.28	埼玉県所沢市議会	予約型乗合タクシーについて
7.30	熊本県八代市議会	商業振興基本条例・商店街活性化事業について
8. 4	新潟県南魚沼市議会	彦根市立病院について 空き家等の適正管理に関する条例について
8. 5	和歌山県和歌山市議会	お城を生かしたまちの景観形成について 彦根城について（現状保存、維持管理）
8. 6	長野県千曲市議会	ゆるきゃら「ひこにゃん」の活用について 彦根城について
8. 6	滋賀県大津市議会	地域通貨「彦」について
8. 7	埼玉県飯能市議会	議会報告会、議会だより等について
8.21	兵庫県加東市議会	小中一貫教育について 地域公共交通総合連携計画について
8.25	和歌山県日高町議会	予約型乗合タクシー事業について

議場コンサートを開催します

議場コンサートは、議会へ来ていただく契機になればとの思いから、議場開放の一環として開催しています。

今回で第21回を迎える議場コンサートは、平成27年11月定例会の初日（11月30日）に開催し、「ハピネスハーモニカクラブ」のみなさんに演奏をしていただきます。

「ハピネスハーモニカクラブ」は、会員13人で平均75歳。月6回の練習に励み、福祉施設等で演奏活動をしておられます。

議場コンサートは、事前申込みは不要です。数に限りがございますが議員席もお座りいただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

第21回

議場コンサート（予定）

日時：平成27年11月30日（月）

13時から

場所：彦根市議会 議場

（市役所5階）

出演：ハピネスハーモニカクラブ

曲目：「彦根市民の歌」

「アメイジンググレイス」

ほか

ひこね市議会だよりNo.130号の訂正について

ひこね市議会だよりの第130号の5ページ（下段）に誤りがありましたのでお詫びして訂正します。正しくは下記のとおりです。

消費税および地方消費税の税率引き上げ等に対応するための使用料等の改正

一般廃棄物と併せて処分することができる産業廃棄物の処理手数料について、近年の電気料金の値上げや燃料費の上昇などによる経費の増加ならびに、平成26年4月1日に行われた消費税および地方消費税の税率の引き上げに対応するため、**平成27年8月1日から処理手数料を引き上げる一般廃棄物の処理手数料と額および改定時期を合わせるものです。**

一般廃棄物	処理手数料	一例：焼却場搬入の場合20キログラムまでごとに260円⇒340円 など
-------	-------	-------------------------------------

※通常は燃やすごみとなる産業廃棄物の受入は行っていません。

編集後記

9月定例会におきましては、議長、副議長、議会選出監査委員を除き、代表質問2名、個人質問19名と全議員が登壇し、さまざまな問題に関しフリックボードや写真の提示をしながら徹底した議論が行われ、多くの皆様に傍聴いただきました。

傍聴やインターネット中継によつて市議会をより身近に感じていただけるよう、今後もわかりやすい議論と情報発信に努めてまいります。

また、多くの市民の皆様が関心を持たれております市役所本庁舎耐震化整備事業を検討するため新たに特別委員会を設置され、開かれた中でスピード感を持った議論が期待されます。

広報委員会



次の定例会は 11月です

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
11月30日（月）	開 会	9：00
12月 7日（月）	個人質問（予備日含む）	9：00
12月 8日（火）		
12月 9日（水）		
12月10日（木）	予算特別委員会	9：30
12月11日（金）	企画総務消防常任委員会	9：30
12月14日（月）	福祉病院教育常任委員会	9：30
12月15日（火）	市民産業建設常任委員会	9：30
12月17日（木）	閉 会	9：00

議会の傍聴は事前申込み不要です。ぜひお気軽にお越しください。